

ジビエ施設の取組事例

-人材確保、労働時間の平準化-

令和8年1月



はじめに

農林水産省鳥獣対策・農村環境課では、全国の処理加工施設が抱える現状や課題を把握し、今後の支援方策の検討に役立てることを目的として、令和7年度に全国の処理加工施設を対象としたアンケート調査を実施しました。

調査の結果、人材の確保や労働時間の平準化に関して多くの施設が課題を抱えていることが明らかとなりました。特に、地域内での人材の確保や、繁忙期・閑散期の作業量の偏りに対応する柔軟な人員体制の構築が多く挙げられました。

こうした課題の解決に向けては、①地域おこし協力隊の活用、②特定地域づくり事業協同組合制度の活用、③特定技能制度や④外国人技能実習制度の活用、⑤経営の多角化による持続的な雇用環境の確保 など、様々な取組が考えられます。

本事例集では、これらの取組を実際に進めている施設の具体的な事例を取り上げ、それぞれの背景、工夫、効果をわかりやすく紹介しています。

課題の解決に向けて取り組む際のヒントや参考として、全国の処理加工施設の皆様にぜひご活用いただければ幸いです。

目次

地域おこし協力隊について	3
特定地域づくり事業協同組合制度について	5
特定技能制度について	7
外国人技能実習制度について	11
一経営体による経営の多角化について	14